

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. コミュニティバスの充実で免許の有無に関わらず子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちに</p> <p>【趣旨説明】</p> <p>「車の運転をやめたら日々の生活がとても不便になってしまった」「高齢になり免許証を返納しなければならないが車に乗れなくなると生活に困ってしまうからなかなか返納できない」など、高齢化に伴う移動の保障は、健康に生活をするためには必要不可欠であり人権を守ることに繋がると考える。</p> <p>高齢者が免許証を返納しても安心して暮らせるために、また、学生や働く世代の毎日の通勤・通学にも便利に利用できるコミュニティバスとなるよう、(次頁へ)</p>	<p>(1) コミュニティバスの役割</p> <p>(2) コミュニティバス利用者の実態について</p>	<p>①地域公共交通としてのコミュニティバスに求められる役割とは何か伺う。</p> <p>②瀬戸市地域公共交通網形成計画（計画期間 2019～2026 年度）の概要には「コミュニティバスは、基幹バスを補完し交通結節点まで運行しており、毎日運行と隔日運行の路線があり、1日 5～8 便が運行」とされている。※現在はダイヤ改正で4便の路線もある。</p> <p>基幹バスは1時間に1本以上の頻度で運行しているが、コミュニティバスは運行しない曜日や1日に4便しか運行していない現状で「基幹バスを補完」できていると考えるか見解を伺う</p> <p>③コミュニティバスは地域や利用する年代、病気や障害の有無などで要望は様々であり、その役割を果たすためには市役所庁内の部課を超えた連携で取り組む必要があると考えるが、どのような連携で事業を実施しているか伺う。</p> <p>④コミュニティバスが役割を果たすことは、市民の自由や権利を守ることに繋がると考えるが見解を伺う。</p> <p>①品野3線といわれる、上半田川線・片草線・岩屋堂線は1台のバスが、1日に3路線を順番に運行しており、2021年（R3年）には、市民の要望を実現するため時刻や運行経路の改正をして、停留所が増えたかわりに1日5便から4便へと減便された。その結果、便利になった利用者、不便になった利用者があるが、市民の要望に応える改正の際には現在の利用者の利便性を最低でも維持した上で行うべきと考えるが、減便に至った理由を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>新規の路線や既存の路線の拡充が必要であることを求め質問する。</p>		<p>②減便によって起こっている実態について市の認識を伺う。</p> <p>通院のために岩屋堂線を利用している80代の女性は、以前は1本目のバスに乗り遅れても2本目のバスで午前中の診察受付に間に合ったが、改正後は2本目のバスが11:35発で受付に間に合わず1本目に乗り遅れたら通院できなくなった。買い物などは、週末に子どもさんの協力も得ながら生活しているが、安心して通院できないこのような実態は他にもある。市は、改正による利用者の具体的な困り事や要望はどのようにつかんでいるか伺う。</p> <p>③高齢者が車の乗り合わせで協力し合って生活している実態について市の認識を伺う。</p> <p>リハビリと買い物と金融機関へ行くために上半田川線を利用している高齢の皆さんは、1本目の8時のバスを利用すると8時30分前に目的地に到着してしまい、病院もスーパーも金融機関もまだ開いていない。2本目の10時55発を利用すると、どれか1つしか用事が済ませられなくなる。もし全部済ませようとする、戻ってくるためのバスが14時頃までない。友人の中で80代の方が1人だけ運転できるので乗り合わせてスーパーなどへ行くこともあるが、運転している方も事故を起こさないよう神経を使っているという。このように免許証の自主返納が勧奨される年齢の皆さんが、車の乗り合わせにより協力し合わないと暮らせない実態を、解決するための議論や取り組みは行われてきたか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④1台のバスで1日おきに運行している下半田川線と曾野線について伺う。</p> <p>ひとり暮らしの下半田川線を利用する方は、コミュニティバスの運行がない日に市役所に行くには、下半田川からバス(東濃鉄道)で多治見まで行き、電車(JR)で多治見から高蔵寺、愛環鉄道で瀬戸市駅へ乗り継ぎ徒歩で市役所まで向かうという実情がある。</p> <p>生活するために必要な外出は本来バスの運行や時刻に合わせて行うものではなく、自由に行えることが重要であるが、市民が市役所に来るためにこのような努力が必要な実態がある。同時に曾野線で通院している利用者も通院日の選択肢が減っているのは事実である。このような実態を改善し利用者を増やすためにも、毎日運行が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤高齢者が免許証の自主返納を躊躇せざるをえない実態について市の認識を伺う。</p> <p>瀬戸市地域公共交通会議の参加メンバーでもある瀬戸警察に免許証の返納数を確認したところ、瀬戸署で受け付けた返納数は次の通りでした。2018年777件、2019年1040件、2020年1056件、2021年959件、2022年10月末時点で715件。また、瀬戸市で65歳以上の高齢者が起こした(第1原因となった)の交通事故は、全体の25.3%であり、愛知県の平均19.5%よりも5.8ポイント高くなっている。更に、警察官が事故の際に事故を起こした高齢者への聞き取りで「免許を返さないといけないけど足がなくなると生活に困る」という理由で返納を延ばしてきた方が多いことが特徴的ということも聞いている。</p> <p>このように、高齢になると事故を起こしてしまう確率も高くなるが、高齢者の免許証の自主返納について市の考え方と取り組みを伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 市民の要望を実現しコミュニティバスの役割を果たしていくために	<p>①瀬戸市の高齢化率は今年の4月1日時点で29.8%、10月1日時点で29.9%、瀬戸市高齢者総合計画によると、2025年30%、2030年32.8%と今後も高くなっていくことが予測されているが、それを上回る可能性も高い。免許の自主返納数からも、公共交通機関を利用する高齢者が増加していくのは必然的である。コミュニティバスを必要とする人口や地域は、年々増えていくと考えるが市の見解を伺う。</p> <p>②コミュニティバスの利用対象者は増えていくことが見込まれるが、利用したくても便利に利用できない状態を改善し利用者を増やしていくことが、コミュニティバスの役割を果たすことになると考えるが、利用者を増やすために具体的にどのような政策が必要と考えているか伺う。</p> <p>③瀬戸市地域公共交通会議の議事録によると、免許の返納を促進している瀬戸警察から、次の3つの要望が出されている。</p> <p>1) 免許の返納で足がなくなる不安から、運転が危ないという認識があっても免許の返納ができない実情があるため、高齢者の多い地域ではできる限り公共交通網を拡大して欲しい(令和3年1回目)</p> <p>2) 穴田町の企業誘致に関連して、交通量削減のため公共交通を充実して利用促進をしてほしい(令和3年1回目)</p> <p>3) 高齢者の免許の自主返納の促進で公共交通機関の利用増につながる。自主返納と公共交通機関利用促進のため自主返納者へ特典を考えて欲しい(令和2年1回目)</p> <p>これらの要望について、どのような議論と検討がされてきたか、今後の計画も併せて伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		④既存の路線と新たな路線を拡充せずに、今後増えていくことが予測されるコミュニティバス利用者の要望の実現、コミュニティバスの役割を果たすことは困難と考えるが、既存の路線と新たな路線の拡充について見解を伺う。

- 備考
1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。